

山形大学人文社会科学部教員公募（日本古代史・日本中近世史担当）

1. 募集人員 1名（准教授又は講師）
2. 所属 学術研究院（人文社会科学部人文社会科学科人間文化コース）
3. 専門分野 日本古代史ないし日本中近世史
4. 担当科目等
 - (1) 専門教育における歴史学（日本古代史）ないし歴史学（日本中近世史）関連の科目
 - (2) 基盤教育科目
※基盤教育については、以下をご参照ください。
<http://www.ias.yamagata-u.ac.jp/>
 - (3) 基盤教育スタートアップ・セミナー及び学科・コースにおける共同分担科目
 - (4) 大学院修士課程における歴史学（日本古代史）ないし歴史学（日本中近世史）関連の講義及び演習科目
※必要に応じてこのほかの授業を担当していただく場合があります。
5. 応募資格
 - (1) 博士の学位又は Ph.D を有する方（取得見込みを含む）
 - (2) 日本古代史ないし日本中近世史の領域において、研究業績を有する方
 - (3) 基盤教育科目の教育に積極的に取り組むことのできる方
 - (4) 人文社会科学部の運営に積極的に取り組み、地域連携、国際的な交流事業に寄与することのできる方
6. 採用予定日 令和3年4月1日もしくは10月1日
7. 処遇等 本学の関係規程等による
8. 提出書類
 - (1) 履歴書（様式自由。写真添付、生年月日、自宅の住所、電話番号、E-mail アドレスを明記。）
 - (2) 研究業績一覧（5部。著者名、タイトル、掲載誌等名、巻号、発行年月、ページ、査読の有無を明記したもの。科研費等外部資金の獲得実績があれば、その概要（研究代表者、研究課題名、申請の細目名、期間等）を記入してください。）
 - (3) 主要研究業績3点以内及びその要旨（各5部。コピー可。印刷中の著書については、出版証明書ならびに最新校正コピーを、採択された論文については、その旨を証明する書面のコピーならびに論文原稿を添付して下さい。要旨はそれぞれ500字程度の日本語で記述してください。）
 - (4) 研究業績の概要及び着任後の教育と研究に関する抱負（5部。2000字程度の日本語で記述してください。）
※提出書類は、原則として返却しません。著書など、返却を希望される場合は、応募の際に宅配便着払いの用紙（必要事項を記入したもの）を貼った封筒を同封してください。
 - (5) 選考段階で、面接及び模擬授業（日本語による）を行うことがありますが、その際の旅費は支給できません。また新型コロナウイルスのまん延次第では、これらをオンラインで行うこともあります。
9. 応募期限 令和3年1月8日必着

10. 書類提出先

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12 山形大学小白川キャンパス事務部総務課 気付
山形大学人文社会科学部 宛

※書類提出の際は封筒に「日本古代史・中近世史担当教員応募書類」と朱書し、簡易書留
で送付してください。

11. 問合せ先

山形大学小白川キャンパス事務部総務課（人文社会科学部担当）

（電話）023-628-4203

（メール）jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※問合せはメールでお願いします。

12. その他

(1) 採用後は、山形市又はその近郊に居住していただくことになります。

(2) 現在、本学では「国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン」に
基づき、令和3年4月から新たな年俸制及びテニユアトラック制の導入を予定しており
ます。本学における新たな人事給与制度の内容については、整備次第本学ホームページ
で公表いたします。(https://www.yamagata-u.ac.jp/)

【テニユアトラック制度について】

・任期（5年）付き採用となりますが、着任時から2年6ヶ月以降、雇用期間満了時ま
での間にテニユア審査を行い、適格となった者は任期の定めのない教員として雇用
します。

・大学が研究に必要な環境を整備することにより、自立した研究者として、研究・教
育の経験を積むことができます。

(3) 教員の年齢別構成の改善を図るため特に若手教員の活躍の場を全学的に拡大し、教育研
究を活性化してゆく予定です。このことを踏まえ、今回の公募は若手教員（35歳未満）
の応募を歓迎します。

(4) 本選考は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則って男女共同参画を推進するため、女
性研究者の応募を歓迎します。山形大学では全学をあげた男女共同企画参画の推進と、
ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、
医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充
実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学
会参加時の保育支援制度をはじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。
詳細については、下記 URL をご覧下さい。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

(5) 研究分野について、英語で授業できることが望まれます。